

佐賀県知事 様

住 所 佐賀市中の館町4-10
団 体 名 赤松まちづくり協議会
代表者職・氏名 会長 蘭 晴 男

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和3年2月5日付け県協第2101号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

令和2年度寄附金活用実績報告書

事業名	赤松えがお食堂、水鏡プロジェクト
寄附受入額	315,000円
事業内容 (いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	
<p>○水鏡プロジェクト</p> <p>■期間：2021年10月23日</p> <p>■主催者：水鏡プロジェクト実行委員会</p> <p>佐賀県建築士会の青年部と女性部、赤松まちづくり協議会が連携し実行委員会を組織、10月23日(土)に予定されている「さがさいこうフェス」と同時開催する。</p> <p>6月10日(木)第1回打ち合わせ会議、6月18日(金)、19日(土)に灯籠の作成準備を実施した。開催当日は約600個の灯籠を佐賀城南堀に浮かべる予定で材料を調達し準備を進めている。また、7月6日(火)に第2回打ち合わせ会議を実施、水鏡プロジェクトとともにミニコンサートやお茶会、カフェの実施など地域住民が楽しめるイベントにするための企画検討を行う。</p> <p>○赤松えがお食堂</p> <p>■期間：2021年4月、6月、8月、10月、12月、2022年2月の第三土曜日に実施。年間6回</p> <p>■主催者：赤松まちづくり協議会</p> <p>赤松まちづくり協議会中心に、赤松小PTA、自治会長会、民生委員会、食生活改善推進委員会のメンバーなどがボランティアで参加、子どもや高齢者に手作りの昼食を提供している。孤食を防ぎ、子ども、おとな、高齢者の交流の場とする。</p> <p>今年度は、すでに4月24日(土)、6月19日(土)の2回実施した。新型コロナウイルス感染拡大予防のため会場での食事は行わず、弁当のテイクアウトとした。4月は校区内の飲食店に弁当を外注、6月はボランティアスタッフ手作りの山菜おこわ(高齢者)、チキンライス(子ども)をそれぞれ約200食配布した。</p>	
事業実施の成果・効果 (見込み)	
<p>※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。</p> <p>・水鏡プロジェクトは、「令和2年度佐賀市景観賞」を受賞し活動の励みとなった。今年度はLED電池の灯りの入手が困難で、従来通りろうそくを使用する。灯籠の設置範囲を増やすことはできそうにないが、昨年度と同じ場所に浮かべる灯籠の数を増やすことでより美しい景観を創り出そうと地域、学校、佐賀県建築士会が協力し合って活動を進めている。</p> <p>・赤松えがお食堂は、コロナ禍でテイクアウト方式を取り入れた。民生児童委員、自治会長が校区内の一人暮らしの高齢者宅に弁当の配布を行い、公民館へ出かけてくることができない人たちにも食事を提供することができた。また、高齢者宅を訪問し配布するので、一人暮らしの高齢者の安否確認にも役立っている。</p> <p>・子どもと高齢者のメニューを変えるなど、スタッフの努力と工夫で、土曜日に留守番をしている子どもたちへの食事の提供ができ、保護者にも喜ばれている。反省会、準備のための打ち合わせなど綿密に話し合いが行われ、お互いに協力し合い、それぞれの役割を持って活動するスタッフ間のチームワーク力が向上している。</p>	

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		赤松えがお食堂、水鏡プロジェクト	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	315,000 円	第4回交付：315,000 円
	佐賀市協働推進課助成金	27,163 円	
		収入 計	342,163 円
支 出	活動費	20,000 円	スタッフ活動費 1,000 円×10 名×2 回
	消耗品費	176,683 円	えがお食堂材料代 112,276 円 水鏡プロジェクト灯籠材料代 64,407 円
	返礼品等の調達に係る費用	98,000 円	返礼品調達費 (寄附額の3割以下)
	返礼品等の送付に係る費用	7,000 円	返礼品梱包及び送料
	事務に係る費用	35,000 円	「さが市民活動サポートセンター」への 業務委託費 (寄附額の各1割)
	雑費	5,480 円	振込手数料、チラシ・会議資料印刷代
		支出 計	342,163 円

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。